

第51回 京の冬の旅 キャンペーンについて



京都市と公益社団法人京都市観光協会では、本年12月から翌年3月にかけて、京都の冬の観光キャンペーン「京の冬の旅」を実施します。

第51回目を迎える今年は、「大政奉還150年」をテーマに、恒例の「非公開文化財特別公開」、テーマを設けて京都を巡る「定期観光バス特別コース」をはじめ、「伝統産業・文化」「朝観光・夜観光」「京の食文化」の3つのテーマのもとに多彩なイベントを実施します。

JRグループ6社共同によるデスティネーションキャンペーンとして、北海道から九州まで、全国規模での観光キャンペーンとして、下記のとおり展開しますので、お知らせします。

記

1 実施期間

平成28年12月1日（木）～平成29年3月20日（月・祝）

※京都デスティネーションキャンペーン期間は、平成29年1月1日（日・祝）～3月20日（月・祝）

2 内 容

- (1) 非公開文化財特別公開
- (2) 定期観光バス特別コース
- (3) 京都「千年の心得」
- (4) 京の体験キャンペーン「京のたしなみ」
- (5) 京の冬の食文化キャンペーン「食遊菜都」 ほか

※キャンペーンの詳細については、別添「京の冬の旅」パンフレットを御参照下さい。

3 後 援

公益社団法人日本観光振興協会



京の冬の旅パンフレット

※「京の冬の旅」に関する画像データの希望、使用につきましては、別紙1を御確認ください。

※キャンペーンの詳細については、京都市観光協会のホームページ (<http://www.kyokanko.or.jp>) でも公開しています。

1. 第51回「京の冬の旅」非公開文化財特別公開 ～秘められた京の美をたずねて～



第51回「京の冬の旅」のテーマは「たいせいほうかん大政奉還150年記念」。

武家政権の終焉であり、日本の近代国家への転換期となった歴史的な出来事の舞台は、京都でした。

幕末ゆかりの寺院を中心に、初公開の寺院など14ヶ所で、庭園、襖絵、建物など通常非公開の文化財を期間限定で拝観することができます。



(後援：公益財団法人京都市文化観光資源保護財団)

○期 間 平成29年1月7日(土)～3月18日(土)

*金戒光明寺は、1/11(水)は12:00～の公開。

*金戒光明寺 西翁院は、1/14(土)・15(日)は拝観休止。

*聖護院は、1/16(月)～の公開となります。また1/23(月)～25(水)、1/30(月)～2/4(土)は拝観休止。

*知恩院 大方丈・小方丈・方丈庭園は、1/10(火)～19(木)は拝観休止。

*西福寺は、2/3(金)・28(火)は拝観休止。

*高台寺は、平成28年12/1(木)～の公開となります。

*妙法院は、1/16(月)～の公開となります。また2/25(土)、3/3(金)は拝観休止。

*壬生寺本堂・狂言堂は、1/30(月)～2/5(日)は拝観休止。

*島原角屋は、～3/14(火)までの公開となります。3/15(水)～は「角屋もてなしの文化美術館」として通常公開(月曜休館、祝日の場合翌日)

*その他法要や悪天候等、都合により拝観できない日や時間帯が生じる場合があります。

○公開時間 10:00～16:00(受付終了)

*知恩院 大方丈・小方丈・方丈庭園は、～15:40(受付終了)

*高台寺は、9:00～17:00(受付終了)

*妙法院は、10:00～15:30(受付終了)

*東寺五重塔は、9:00～16:00(受付終了)

○料 金 1ヶ所 大人600円(団体割引あり)

*東寺五重塔(通常公開部分含む)は800円

○問 合 せ 京都市観光協会 ☎075-213-1717

※個人については、予約不要です。公開時間内に直接お越しく下さい。

○対象箇所と見どころ

こんかいこうみょうじ

金戒光明寺 幕末・大政奉還

～会津藩の本陣がおかれた城構えの寺～

幕末、京都市中の治安維持にあたる京都守護職を務めた会津藩主・松平容保まつだいらかたもりが本陣を構えた寺。近藤勇こんどういさみらが容保に拝謁し新選組しんせんぐみが誕生した場所でもあり、境内には会津藩の戦死者が葬られた墓地がある。

「謁見の間」が設けられた大方丈では、仕掛けのある虎の襖絵のほか、容保の遺墨、藩士の鎧兜よろいかぶとなど

会津藩ゆかりの寺宝を特別公開。また回遊式庭園「紫雲の庭」や、御影堂に安置された伝運慶作の

文殊菩薩像もんじゅぼさつや吉備観音像きびかんのん(重文)も拝観できる。

*1/11(水)は、12:00～の公開

こんかいこうみょうじ さいおういん
金戒光明寺 西翁院 京の冬の旅13年ぶりの公開
～淀を望んだ高台の閑雅な茶席～

わ 侘び茶の奥義を極めた江戸時代の茶人・藤村庸軒の茶室（重文）で知られる、金戒光明寺の塔頭寺院。遠く淀や山崎方面まで遠望できる高台に位置することから「淀看席（澱看席）」と呼ばれるようになった三畳の茶席で、点前座と客座の間に中柱を建て壁で仕切られた、「宗貞囲（道安囲）」とも呼ぶきわめて閑雅な茶席である。茶室の北側には、三尊石組や枯滝石組が残る江戸初期作庭の枯山水庭園が広がっている。

* 1 / 14 (土)・15 (日) は拝観休止

しょうごいん
聖護院 ～旧仮皇居を飾る障壁画と初公開の弁才天尊～

ほんざんしゅげんしゅう もんしゅ もりごてん
山伏で知られる本山修験宗の総本山。代々皇室や撰家より門主を迎えた門跡寺院で「森御殿」と呼ばれ、御所火災時には仮皇居となった。宸殿には上段の間があり、絢爛豪華な「花鳥図」「老松図」など約170面に及ぶ狩野派の障壁画が残る。御所から移築した瀟洒な書院（重文）は、釘隠しや透かし彫りなどみどころが多い。また、明治期までは春秋に御着替がなされ今も美しい色彩を留める初公開の「弁才天尊」や、財運・金運の蛇神「宇賀神像」などが公開される。

* 1 / 16 (月) ～の公開となります。また1 / 23 (月) ～25 (水)、1 / 30 (月) ～2 / 4 (土) は拝観休止。

ち おんいん おおほうじょう こほうじょう ほうじょうていえん
知恩院 大方丈・小方丈・方丈庭園 京の冬の旅17年ぶりの公開
～徳川家の永代菩提所 豪壮な建築～

浄土宗の総本山で、徳川家康が浄土教信者であったことから將軍家の庇護を受け、壮大な伽藍が整えられた。幕末、文久年間には公武合体派の中心であった薩摩藩の島津久光が宿所とした。特別公開の大方丈（重文）は、武者隠しのある「上段の間」や54畳敷の「鶴の間」、「抜け雀」の襖絵で知られる「菊の間」など、各室が金碧障壁画で飾られた豪壮華麗な佇まいである。対照的な水墨画が描かれた小方丈（重文）や、僧・玉淵の作庭と伝わる方丈庭園も拝観できる。

* 1 / 10 (火) ～19 (木) および2 / 17 (金) は拝観休止

けんになじ きゅうしょういん
建仁寺 久昌院 京の冬の旅20年ぶりの公開
～武勲を伝える襖絵と「遠州別好ノ席」～

建仁寺の塔頭寺院で、徳川家康に仕えた武将・奥平信昌の菩提寺として創建された。織田・徳川連合軍と武田軍による「長篠の戦い」での信昌の功績を称え、絵師・宇喜多（浮田）一蕙が描いた「長篠合戦図」が襖絵として残されている。心字池を中心とした本堂前庭は、二段に刈り込まれた生垣の奥に建仁寺の堂宇や東山を望む池泉観賞式庭園である。書院「高松軒」には、上段の間のある座敷のほか、天井や間取り、入口が複雑で変化に富んだ茶席「遠州別好ノ席」が残されている。

さいふくじ
西福寺 京の冬の旅初公開 ～人の世の無常を伝える檀林皇后ゆかりの寺～

葬送地・鳥辺野の入口にあたり、あの世とこの世の境「轆轤町」に建つ古刹。平安時代の地蔵菩薩像が祀られており、嵯峨天皇の妃・檀林皇后もしばしば参詣した。特別展示される「檀林皇后九相図」は、美貌で知られた檀林皇后の、生前の姿から肉体が朽ち果て土に還るまでの姿を9つの段階に分けて描いたもので、人の世の儚さや無常を伝えており、お盆の精霊迎えの時期のみ公開されてきた。「地獄絵図（六道十界図）」や江戸時代の「洛中洛外図屏風」（鳥瞰図）などの寺宝も展示される。

※期間中寺宝の展示替えがあります。 * 2 / 3 (金)・28 (火) は拝観休止

こうだいじ
高台寺 ～桃山文化の粋を集めた 秀吉とねねの寺～

慶長11年(1606)、豊臣秀吉の菩提を弔うため正室・北政所ねねが建立した寺で、華やかな桃山文化を偲ばせる建物や庭園、茶室が数多く残る。今回は、秀吉と北政所を祀る霊屋(重文)の、厨子扉や須弥壇に施された美しい装飾「高台寺蒔絵」を特別に近くで見ることができ、開山堂(重文)内陣の伝狩野山楽筆の龍の天井画も特別公開。また、開山堂と霊屋をつなぐゆるやかな「臥龍廊」を通る特別ルートでの拝観や、境内の最も高い部分に位置する展望台も公開される。

*平成28年12/1(木)～の公開となります。

みょうほういん
妙法院 京の冬の旅13年ぶりの公開
～「七卿落ち」ゆかりの天台三門跡の一つ～

代々皇室から住職を迎えた「天台三門跡」の一つ。幕末の「八月十八日の政変」で失脚した尊王攘夷派の三条実美を始め7人が、長州へ落ち延びた「七卿落ち」ゆかりの地として知られ、今回は宸殿で「七卿落図」が特別展示される。また、国内最大級の桃山期の庫裏(国宝)や、御所の旧殿を移築したという大書院(重文)の狩野派の障壁画、伏見城遺構とされる池泉式庭園などみどころは多い。平安時代初期の不動明王像(重文)を祀る「内仏殿」(護摩堂)や龍華蔵(宝物庫)なども拝観できる。

*1/16(月)～の公開となります。また2/25(土)、3/3(金)は拝観休止。

みぶでら ほんどう きょうげんどう
壬生寺 本堂・狂言堂 本堂は京の冬の旅7年ぶり、狂言堂は京の冬の旅初公開
～新選組ゆかりの寺院 壬生狂言の舞台～

無言劇「壬生大念佛狂言」(重要無形民俗文化財)を伝える平安時代創建の律宗寺院。新選組が境内を訓練場として使っていたことでも知られ、隊士の墓が残されている。特別公開の本堂では、美しい截金文様が見事な、現存最古級の地藏菩薩立像(重文)のほか、奈良・唐招提寺に伝わる国宝・鑑真和上坐像の「お身代わり像」も初公開。あわせて「大念佛堂(狂言堂)」(重文)では、能舞台にはない「飛び込み」「獣台」など特異な構造や、壬生狂言の衣装や小道具、面も公開される。

*1/30(月)～2/5(日)は拝観休止。

しまばら すみや
島原 角屋 京の冬の旅13年ぶりの公開
～新選組も通った旧花街の揚屋建築～

江戸幕府公認の花街として栄えた島原に残る角屋(重文)は、江戸時代の饗宴・もてなしの文化の場である揚屋建築の唯一の遺構。幕末には新選組が通り、西郷隆盛、桂小五郎なども利用したという。江戸期の文化サロンで、饗宴のための施設であることから、細部にまで意匠を凝らした見事な建築が残されている。今回は「臥龍松の庭」、「松の間」、天井を網代組みにした「網代の間」、「台所」などの一階部分が公開される。(二階座敷と美術館は御覧いただけません)

*～3/14(火)までの公開となります。3/15(水)～は「角屋もてなしの文化美術館」として通常公開(月曜休館、祝日の場合翌日)

みょうしんじ おおぐり きょうぞう
妙心寺 大庫裏・経蔵 ～京都最大の禅寺 巨大な台所と輪蔵～

妙心寺は、臨済宗妙心寺派大本山で京都最大の禅寺。約10万坪の境内に並ぶ「七堂伽藍」の一つ・大庫裏(重文)は、数百人分の食事を調理し配膳するための台所である。巨大な木材を縦横に組んだ豪壮なつくりで、定朝作と伝わる地藏菩薩像を祀った30畳敷の食堂、大竈、貯蔵庫などを備えている。あわせて公開の経蔵(重文)には、六千五百巻の経典を納めた八角形の回転式輪蔵(経巻棚)が据えられ、これを一回転させると全巻を読んだのと同じ功德が得られるという。

※輪蔵を回転させることはできません

妙心寺 大雄院 京の冬の旅初公開

～柴田是真の襖絵が彩る石河家の菩提寺～

尾張藩家老・石河光忠いしこみつただが父の菩提を弔うために建立した妙心寺の塔頭寺院。客殿には、江戸末期から明治初期の漆芸家・蒔絵師まきえしの柴田是真しばた ぜしんが描いた襖絵72面が残る。猿が愛らしい「滝猿図」や中国・唐代の武将を題材にした「郭子儀図」など各室異なる題材で、「四季草花図」では向日葵ひまわりが描かれているのが珍しい。円山応挙まるやまおうきよの門人・土岐濟美筆と きざいみの山水の襖絵が残る書院や、妙心寺境内では珍しい池のある庭園のほか、所蔵の寺宝や「蚕繭紙さんけんし」なども公開される。

妙心寺 養徳院 京の冬の旅初公開

～「酒茶論」を伝える石河家の菩提寺～

豊臣秀吉の重臣であった石河光重いしこみつしげが、父・光延みつのぶの菩提を弔うため創建した妙心寺の塔頭寺院。本堂には、本尊・釈迦三尊像や石河家歴代の位牌を安置し、梅や椿が咲く枯山水庭園には、十三重石塔や灯籠が点在する。寺宝「酒茶論」は、妙心寺五十三世をつとめた高僧・蘭叔玄秀らんしゆくげんしゅうが著した漢文体の掛軸で、酒と茶の徳について論争したもの。また、桃山時代に活躍した曾我直庵筆そ がちよくあんの白と黒の「鷹の図」2幅や、鑑真和上がんじんわじょう請来と伝わる鉄鉢などの寺宝も特別展示される。

東寺 五重塔

～京都の象徴 日本一高い五重塔～

世界文化遺産に登録された真言宗総本山。平安京造営時に国家鎮護のために創建され、のちに弘法大師空海こうぼうだいしくうかいに下賜された。徳川三代将軍家光が再建した五重塔（国宝）は、高さ約55mで日本一高い木造塔である。特別公開の初層内部は極彩色の文様で彩られ、密教の根本仏だいにちによらい・大日如来に見立てた心柱を囲んで金剛界四仏が安置されている。また金堂こんどう（国宝）、21体の仏像（うち16体が国宝、5体が重文りつたいまんだら）が立体曼荼羅を形成する講堂（重文）など密教美術の宝庫といわれる諸堂も拝観できる。

「京の冬の旅」スタンプラリー

非公開文化財特別公開14ヶ所の中から好きな3ヶ所を拝観してスタンプをもらおうと、指定の場所で“ちょっと一服”（抹茶と菓子、珈琲など）の特典が受けられるスタンプラリーを実施します。スタンプラリー用紙は期間中、各公開箇所受付や京都総合観光案内所〈京なび〉などで配布します。



○期 間 平成29年1月7日（土）～3月18日（土）

○接待箇所 洛南会館「喫茶やまぶき」・花園会館「花ごころ」・本家八ツ橋 八坂店・青窯会会館・俵屋吉富「京菓子資料館」・カフェレストラン浮舟・京洋菓子司 ジュヴァンセル祇園店・京洋菓子司 ジュヴァンセル神宮前店・和順会館「カフェ かりん」・湖月茶屋・京湯元ハトヤ瑞鳳閣「レストラン栄寿庵」・ホテル平安の森京都「京わらべ」
 なおJ R京都駅ビル2階の京都総合観光案内所〈京なび〉にて記念品との引換えもできます。

※後述の定期観光バス乗客及び団体での参加はできません。

2. 定期観光バス特別コース

非公開寺院や、普段敷居が高い料亭での京料理などを堪能する冬だけの特別バスコースを運行します。

○コースと対象箇所

うるわしコース<L4>

～大政奉還150年記念～ 京の幕末ゆかりの地をたずねて

「大政奉還150年」を記念した特別コース。大政奉還の舞台・二条城や小御所会議の開かれた京都御所など、京都に残る幕末ゆかりの地をたずねる特別コース。



特別公開箇所ではご案内がございます

○期 間 平成29年1月7日(土)～3月18日(土)の毎日
※1/10・17・24・31は運休

○出発時刻 JR京都駅烏丸口 10:10発
(所要 約6時間～6時間30分)

○料 金 大人 9,200円 小児 6,410円

○案内箇所

◆元離宮二条城



「二の丸御殿中庭」特別公開：二の丸御殿の北東に広がる「中庭」が平成29年1月から特別公開され、御殿の通常見られない裏側が見られます！

◆京都御所 **伝統文化保存協会提供のオリジナルグッズ付き** ※1/9を除く毎週月曜と御所参観不能日は他へ変更

◆金戒光明寺【特別公開】

◆二条城売店【喫茶 ソフトクリーム宇治抹茶味(ワッフルコーン)/宇治抹茶ラテ(ホット)/珈琲 のいずれか】

◆西陣魚新【昼食】

みやびコース<L1>

豪華絢爛！門跡寺院と旧花街 障壁画の美をたずねて

由緒ある門跡寺院や旧花街・島原の揚屋の遺構など、絢爛豪華な障壁画を訪ねる特別コースです。

特別公開箇所ではご案内がございます

○期 間 平成29年1月20日(金)～3月18日(土)の毎日

○出発時刻 JR京都駅烏丸口 10:00発
(所要 約6時間～6時間30分)

○料 金 大人 9,100円 小児 6,020円

○案内箇所

◆知恩院 大方丈・小方丈・方丈庭園【特別公開】 ※2/17は他へ変更

◆聖護院【特別公開】 ※1/24・25・31, 2/1～4・19は他へ変更

◆妙法院【特別公開】 ※2/25, 3/3は他へ変更 ◆島原 角屋【特別公開】

◆いもぼう平野家本家【昼食】



やすらぎコース<L2>

「京の冬の旅」初公開2ヶ所を巡る！京の名宝と庭園をたずねて

一年に数日しか公開されない珍しい絵や、武将の功績を伝える襖絵、禅寺の巨大な台所など、「京の冬の旅」初公開の2寺院を含む貴重な文化財を巡る特別コース。

特別公開箇所ではご案内がございます

○期 間 平成29年1月7日(土)～3月18日(土)の毎日

○出発時刻 JR京都駅烏丸口 10:30発
(所要 約5時間30分)

○料 金 大人 9,100円 小児 6,020円

○案内箇所

◆建仁寺 久昌院【特別公開】

◆西福寺【特別公開】 ※2/3・28は他へ変更

◆妙心寺 大庫裏・経蔵【特別公開】

◆妙心寺 大雄院【特別公開】

◆阿じろ【昼食】



あじわいコース<L3>

食にこだわる！京の冬の美味しいものめぐり

老舗料亭で京料理を味わって和食のマナーもちょっぴり知る、千枚漬を味わって漬け方を学ぶ、湯葉の引き上げ体験やできたて干菓子の柔らかさを知る。「知って美味しい」特別メニューで運行。

特別公開箇所ではご案内がございます

○期 間 平成29年1月7日(土)～3月18日(土)の毎日

※2/19(日)は運休

○出発時刻 JR京都駅烏丸口 10:20発

(所要 約5時間～5時間30分)

○料 金 大人 9,200円 小児 6,980円

○案内箇所

◆京料理 美濃吉本店 竹茂楼【昼食】1/7(土)～31(火)と2/24(金)～3/18(土) ※3/10(金)を除く

◆京料理 六盛【昼食】2/1(水)～23(木)と3/10(金) ※2/19(日)を除く

Q 和食の基本マナーご存じですか？

◆京ゆば 湯葉弥【とろとろ引き上げ湯葉体験と試食】**湯葉ひきあげてみよう！**

◆京漬物 打田漬物【千枚漬実演、京漬物試食】**Q 京都の三大漬物とは？**

◆京菓子 甘春堂【実演見学・できたて干菓子試食・生菓子と抹茶賞味】**できたて干菓子の食感！**

◆高台寺【特別公開】



そのほか、昨年新コースとして運行開始した「朝コース」や「大人の修学旅行コース」のほか、今冬新たに「京の冬の旅」特別公開寺院を貸切で夜間拝観できる「夜コース」など、冬の京都を堪能できる特別コースが満載です。

京の冬の旅 朝のコース

「冬の朝の特別拝観 坐禅と朝ごはん」<AK>

凜とした空気の張り詰める冬の朝の風情を満喫するコース。大徳寺では非公開寺院でバスコースのお客様だけの貸切拝観、坐禅と精進料理の名店での朝ごはんをお楽しみいただきます。

○期 間 平成29年3月4日(土)・5日(日)・11日(土)・12日(日)

○出発時刻 JR京都駅烏丸口 8:00 発(所要 約3時間30分)

○料 金 大人 5,000円 小児 3,500円

○案内箇所 ◆大徳寺 大慈院【朝の坐禅体験】 ◆大徳寺 本坊【特別拝観】 **ご案内付き**

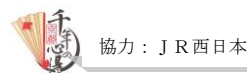
◆壬生寺 本堂・狂言堂【特別公開】 **ご案内付き**

◆泉仙【朝食】

京都「千年の心得」コース

梅かほる北野天満宮と京の伝統・文化体験 <KK>

2人掛けシートに1人でゆったりお座りいただけます。



○期 間 平成29年2月10日(金)～24日(金)の木・金・土・休日

※2/19(日)は運休

○出発時刻 JR京都駅烏丸口 10:00 発(所要 約6時間)

○料 金 大人 13,500円 小児 10,340円

○案内箇所 ◆北野天満宮【梅苑】

◆京都伝統産業ふれあい館

◆～西陣くらしの美術館～富田屋

◆六盛【昼食】

京の冬の旅 大人の修学旅行コース

おとなの京都 学びの旅 ～禅寺・神社・京ことばと京料理～ <TS>

昨年に引き続き運行の「大人のためのコース」。「京ことばレッスン」や禅寺での法話、雅楽の楽器に触れる体験など「学び」の要素が詰まった大人の京都の旅です。

- 期 間 平成29年2月10日(金)・11日(土祝)・17日(金)・18日(土)
- 出発時刻 JR 京都駅烏丸口 10:40 発(所要 約5時間30分)
- 料 金 大人 15,000円 小児 12,500円
- 案内箇所 ◆世界遺産 しもがもじんじや 下鴨神社【参拝と雅楽の楽器に触れる】
◆旧三井家下鴨別邸 きゅうみついでい【特別見学と京ことばレッスン】
◆建仁寺 けんんにんじ 霊源院 れいげんいん【特別拝観と法話】
◆祇園 ぎおん さゝ木 ささき【昼食】 ◆さるや【甘味】

京の冬の旅 夜のコース

「夜の特別公開 新選組ゆかりの島原角屋・壬生寺」 <YK>

この冬初運行！冬の夜の風情を満喫する「幕末ゆかりの地」2ヶ所とライトアップされた庭園をめぐるコース。



新コース!

- 期 間 平成29年2月17日(金)・18日(土)・24日(金)・25日(土)
- 出発時刻 JR 京都駅烏丸口 16:40 発(所要 約3時間30分)
- 料 金 大人 8,000円 小児 6,300円
- 案内箇所 ◆壬生寺 みぶでら 本堂・狂言堂 ほんどう きょうげんどう【夜間特別拝観】 ご案内付き
◆島原角屋 しまばらすみや【夜間特別見学】 ご案内付き ◆神泉苑 しんせんえん 平八 へいはち【夕食】

※料金には運賃・拝観料・見学科・食事代・消費税を含みます。

○定期観光バスのご予約

JRの主な駅・旅行センター、主な旅行会社、定期観光バス予約センター(☎075-672-2100)へ

そのほか、「伝統産業・文化」「朝観光・夜観光」「京の食文化」の3つのテーマのもと多彩なイベント・企画を実施します。

3. 「大政奉還150年」記念イベント



大政奉還150年記念にちなんで、大政奉還に関連したイベントを実施。

- (1) 地下鉄駅発！京都エリアウォーク 京都ぐるり
- (2) 坂本龍馬没後150年 河原町通周辺ウォーキング～坂本龍馬と桂小五郎ゆかりの地をたずねて～
- (3) 京都三条会商店街ぶらり歩き～京都最大アーケードの老舗商店街を訪ねて～
- (4) ～大学のまち・京都・特別文化講座～『みやこ学び旅2017』

4. 京都「千年の心得」



千年を超える歴史に培われ、今も日常に根付いている「京都の奥深い上質な魅力」に出会う…。そんな京都ならではの貴重な体験ができる観光プランが『京都「千年の心得」』です。京都で育まれてきた歴史や文化、技に触れ、日常を忘れじっくり自分を見つめ直すことができる多彩なプランをご用意しています。とくに「朝観光」として、社寺の早朝拝観や早朝のせり見学など3プランを実施。

- (1) 【朝観光】早起きは三文の得！新年のご利益をいただく 北野天満宮と大將軍八神社正式参拝
- (2) 能楽金剛流特別企画 能楽入門 幽玄の世界を体験～金剛流～
- (3) 【朝観光】早起きは三文の得！建仁寺霊源院で坐禅体験と甘茶粥の朝食
- (4) 【朝観光】早起きは三文の得！旬の京野菜食べくらべと京野菜のせり見学～京都美山産平飼い卵かけごはん和京野菜の漬物の朝食～

- (5) 魚三樓九代目当主 荒木稔雄が語る、幕末の動乱を経た伝統の味と品格
- (6) 書家 川尾朋子による、「平成 29 年をともに過ごす一文字を見つけ出そう」
- (7) 佐々木酒造の酒造見学と新酒を楽しむ
- (8) 旧曼舟邸でのお茶会体験と嵐山よしむらの蕎麦懐石を味わう
- (9) 大覚寺不動明王「ご法縁結び式」
- (10) 旧嵯峨御所大本山大覚寺で平安の香り体験～お香（薫物）に親しむ～

4. 京の体験キャンペーン「京のたしなみ」



連綿と受け継がれてきた伝統的な文化や産業。現代にも息づく、その美意識や手技の世界を、職人や文化人の指導、解説により身近に感じることができる体験メニューです。

- (1) 清水焼の窯元・蘇嶽窯で作る 自分だけの器作り
- (2) 箱職人とつくる貼箱体験
- (3) 自分だけの京組紐 手組み体験
- (4) 創業 200 年を超える京老舗の若職人が教える ミニ提燈づくり
- (5) お茶の淹れ方体験 お茶会体験

5. 京の冬の食文化キャンペーン「食遊菜都」

しよくゆうさいと

京料理をはじめとした京の冬の味覚と、京都スタイルの「食」の楽しみ方を発信する催しです。

- (1) 春を待つ「弥生の茶会」～重森美玲庭園美術館での茶会と吉田山荘での京料理を愉しむ～
- (2) 京の五花街お茶屋遊び～花街文化と仕出し料理～
- (3) 醍醐寺「五大力尊仁王会」前行参座と雨月茶屋でのご昼食
- (4) 妙心寺 非公開文化財特別公開と精進料理「妙花膳」
- (5) 嵐山屋形船でほっこり地酒と湯豆腐
- (6) 元お茶屋「津田楼」で舞妓さんと楽しむランチ
- (7) 食遊懐石「京・嵐山 錦」「萬重」「魚三樓」

6. キャンペーン期間中のイベント

そのほか、毎年恒例の「京都・花灯路」をはじめ、多彩なイベントを開催します。

- (1) 京都・嵐山花灯路—2016
- (2) 京都・東山花灯路—2017
- (3) 高台寺「夜咄」夜のお茶会
- (4) 京都・冬の光宴2017～共生と共鳴～
- (5) 西陣・千両ヶ辻と寺之内ウォーキング～西陣の女たち～
- (6) 京都名流いけばな展
- (7) 伝統産業の日2017
- (8) 京都祇園・弥栄会館ギオンコーナー～舞妓さんの舞を近くで観賞～
- (9) 「京の冬の旅」数珠巡礼
- (10) 北野天満宮の「梅苑」公開
- (11) 第111回 京料理展示大会
- (12) 京都商工会議所「京のあけぼのツーリズム」京都・まちなかパン屋めぐりを楽しむ
- (13) 瓢亭十四代当主 高橋英一氏の料理教室と輪違屋見学・島原太夫による舞と胡弓の演奏
- (14) 嵐山グルメめぐりクーポン／東山グルメめぐりクーポン
- (15) 京の冬の旅×京都駅140周年記念イベント
- (16) 「歩いてこそ京都」てぶら観光キャンペーン
- (17) 京の冬の旅 温泉キャンペーン
- (18) 京都マラソン2017
- (19) 第8回 京都ツデーウォーク
- (20) 京都レストランウィンタースペシャル2017

※各催しの詳細・日程は別添「京の冬の旅」パンフレットを御参照下さい。